

## 草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)の引渡し式を実施

2024年4月2日、牛尾滋駐南アフリカ共和国特命全権大使は、ヨハネスブルグのエデンベールにあるリトル・エデン・ソサイエティの施設改修の引渡し式に出席した。この居住施設の改修は、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力プログラム(GGP)を通じて行われたものである。

リトル・エデン・ソサイエティは、57年以上の実績を持つ登録非営利団体である。ヨハネスブルグのエーデンベールにある2つの居住施設で、300人以上の精神的ハンディキャップを持つ子供と大人に長期的なケアを提供している。

2022年、日本大使館はリトル・エデン・ソサイエティから、特別な支援を必要とする住民のための施設改善のための無償資金協力の申請を受けた。この協力により、リトル・エデン・ソサイエティは住居施設の改修を行うことができるようになった。日本大使館は、本協力を通じて整備した、屋外スペースや多目的ルーム、入浴施設が入居者の共同生活環境や治療活動をより良いものとなることを期待している。

この事業は、日本政府による草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)を通じた多くの開発協力事業のひとつである。現在までに、日本大使館が支援したGGPプロジェクトは南アフリカ共和国全土で600件以上実施されている。

